

東成区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第10号

平成29年6月発行

地域とともに取組むごみ減量 廃棄物減量等推進員が体験学習を見学



見学に際しあいさつする藤溪区代表(左から2人目)

6月12日(月)、宝栄小学校で2時間目から3時間目にかけて4年生を対象にした「減らそうごみ・守ろう環境」と題した体験学習を実施しました。

この体験学習には、廃棄物減量等推進員の藤溪東成区代表が参加され「校区や地域で、ごみ減量の取組みを推進したいと思います」とあいさつされました。

2時間目の体験学習では、児童の皆さんと一緒に収集車両やオルゴールの説明につづき資源ごみの積み込み作業や乗車体験を見て頂きました。

3時間目の授業では地球温暖化問題の現状に続き、ごみの分け方・出し方を説明した後、スプレー缶に穴を開ける際の事故が全国的に多発していることを受け、大阪市では4月24日からスプレー缶は中身を使いきった後、穴を開けずに資源ごみとして他の資源ごみとは別の袋に入れて排出する方法に変更したことも説明しました。(スプレー缶の排出方法は裏面に記載)

藤溪区代表からは「わかりやすく楽しめる授業内容で、児童たちもよく理解できたと思う。ごみの分別方法の説明もわかりやすかった」と意見を頂きました。



機械操作の説明に聞き入る児童たちと藤溪区代表(右端)

スプレー缶・カセットボンベ類の

出し方が変わりました!!

大阪市にお住まいの皆様へ

平成29年4月24日(月曜日)から!

スプレー缶・カセットボンベ類の
出し方が変わります!!



火災や事故を防止するため、次の手順でお出しいただくよう、皆様のご協力をお願いいたします。

① 必ず中身・ガスを使いきって、

穴をあけずに

透明または半透明の袋に入れて、



② 「資源ごみ」の収集日に

「資源ごみ」とは別にしてお出ください。



※塗料スプレー(ラッカー等)については、中身を使いきり、穴をあけずに「普通ごみ」の収集日にお出ください。

大阪市東部環境事業センター 電話: 06-6751-5311

※記載チラシは平成29年4月発行のものです。

大阪市では、これまでスプレー缶は穴を開けて、普通ごみの収集日に回収していましたが、スプレー缶に穴を開ける際の事故が全国的にも多発していることを受け、4月24日からスプレー缶やカセットボンベ類については中身・ガスを使いきって資源ごみの収集日に資源ごみの収集対象品目と別の袋に入れて排出していただく回収方法へ変更しました。

塗料スプレー缶は普通ごみで回収

なおペイント系のスプレー缶についてはリサイクルに適さないことから、必ず中身とガスを使い切って穴を開けずに普通ごみの日にお出ください。※大阪市におけるスプレー缶・カセットボンベ類の排出量は組成分析で0.2%となっており、業者収集のアパート・マンションも含めると年間1,100トン(1本100グラム換算時)。これを分別収集し資源化する方向へと取り組むこととしています。

食品ロスと「3きり運動」をご存知ですか?!!

3度の食事 きれいに食べて リデュース宣言

日本で1年間に廃棄される「食品ロス」は年間で約642万トンとも言われており、国民一人当たりカロリーベースでは1人がおにぎり2個分を毎日捨てている計算になるとされています。環境局においても、年間3万トンも捨てられている手つかずの食品類を減らすために、家庭でも食材は「使いきる」、作った料理は「食べきる」、ごみとして捨てる時は「水きりをする」という「3きり運動」に取り組んでいます。

《編集・発行》

大阪市環境局 東部環境事業センター

大阪市生野区巽中1-1-4

TEL:06-6751-5311 FAX:06-6753-3041

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

